「MDが望むこと」

Apinonn Keeper®
アピノンキーパー®

モアディバイス株式会社
https://moredevice.co.jp/

More Device

「ＭＤ」の趣旨と方向性

はじめに

ご承知の通りこの数年、環境破壊による地球温暖化、それに伴い発生する自然災害などは
年々増加傾向にあります。
「100年に一度の･･･」が毎年起こっているのが現況です。

更にはウイルスへの対策も急務となった昨今では、生活そのものが変わってしまうなど
住環境や行動パターンにも配慮が必要な時代になったのです。

そこで「我が社が出来る事」を真剣に考え、小さな一歩から始め、社会、地球、そして
未来の子供たちに「繋ぐ」を合言葉として環境対策について新しい提案をしていきます。

「地球規模の環境問題」等について

「MD」の可能性

”環境問題” と言っても全く違う大きな問題

その１）　菅総理が2020年10月の臨時国会で「2050年カーボンニュートラル宣言」発表しました。
内容は 「我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします」
つまり、日本が目指す「カーボンニュートラル」は、CO2だけに限らず、メタン、N2O（一酸化二窒素）、フロンガスを含む**「温室効果ガス」**を対象にした**「異常気象」**対策という事です。

植物由来のバイオ原料を多用

その２）　環境省で発表されている「海洋プラスチック問題」もあり、地球規模での生態系に大きく影響を与える分解しないで何十年も浮遊する**「プラスチックゴミを出さない」**様にする。(マイクロプラスチック問題)
プラスチックの再生・回収など**「プラスチックの循環型社会の構築」**を図ると記されています。

生分解性樹脂を採用

その３）　厚生労働省・経済産業省・消費者庁 連名で公表されている**「新型コロナウイルス対策」**の消毒・除菌方法については、”モノ”、”手指”の両方に対しての共通点は、「身のまわりを清潔にしましょう」と大テーマになっていて、要するに**「衛生面に配慮しよう」**という事になります。

強力で安全な抗菌剤を配合

「プラスチック」の豆知識

メリット
・金属、ガラスなどと比較して軽量であり、強く、錆びや腐食にも強い。
・加工性に優れ、透明性もあり、着色も自由。
・大量生産が可能で価格も安価。
・電気的絶縁性や断熱性、衛生的にも優れている。
・自己潤滑性が高い。(摩耗)
・金属材料と比較して水や薬品に強い。

デメリット
・他の材料と比較して熱に弱く、熱を加えると変形し、燃えやすい。
・紫外線に弱く、屋外では劣化が早い。
・金属材料と比較して脆弱。
・分解しない為ゴミが残る。(海洋プラスチック問題)

〇現在行われている海洋プラスチック問題の取り組み

プラスチックゴミの回収リサイクル	水産庁と漁業組合が協力し、海のプラスチックごみを回収リサイクルする取り組みが行われています。
生分解性プラスチックの開発	自然界において、微生物が関与して環境に悪影響を与えずに低分子化し、分解されるプラスチックです。
使用材料の変更	プラスチックから紙に変える、バイオ原料を配合するなどの取り組みが世界的に行われています。
レジ袋有料化	日本では2020年7月よりレジ袋の有料化を開始。マイバック持参へ。

MDの提案「アピノンキーパー®」

Bio原料

植物由来のバイオ原料を多用していくことで、石油原料の消費を減らす

生分解樹脂

生分解性樹脂を採用することで、プラスチックゴミを減らす

ハイブリッド

抗菌加工

強力で安全な抗菌剤を配合することで、衛生面をサポートする

More Device

MDの提案「アピノンキーパー®」－2

Apinonn Keeper®
アピノンキーパー®

PATENT PENDING

鮮度保持(抗菌)機能
Freshness Keeping

エチレンガス分解 (水と二酸化炭素に)

エチレンガスを表面から袋外へ排出

抗菌／防カビ／消臭

保湿性が高く鮮度と旨味を維持

室温化保存も可能 (低温ではより効果大)

使い捨てでなく繰り返し使用可

ハイブリッド

生分解機能
Oxo-Biodegradable Plastic

植物脂肪酸原料なので安全

少ない添加率なので品質が変わらない (= 安価)

製品寿命のコントロール可

①酸化還元を繰り返し酸化崩壊(低分子化) →

②微生物による分解(生分解)

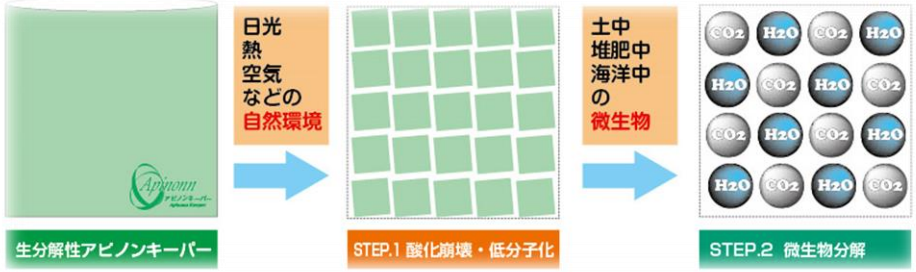
生分解後の土壌環境毒性も安全

※現時点では PP、PE、PSのみ対応

「アピノンキーパー」の機能と使命

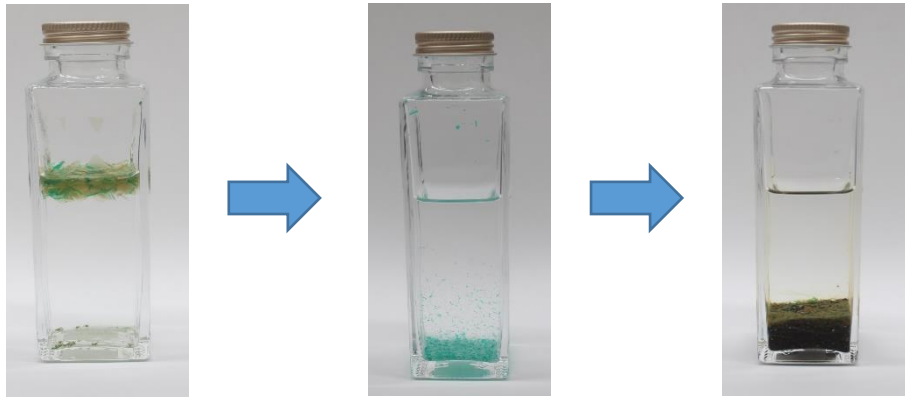
「脱プラ」が理想で最善ですが、この便利で安価、更には日常生活に不可欠なプラを全て無くす事も不可能です。

そこで･･･
アピノンキーパー (Apinonn Keeper)は、鉄が錆びて朽ちていく様に、プラスチックに寿命を設定し、
一定時期がきたら自然に還す事が可能な素材です。また、製造時にBio原料を配合する事も可能なので
脱炭素化(CO_2削減)にも貢献可能です。
更にはニーズにより「抗菌プラ」にも加工出来るので、より安全安心を提案出来ます。



生分解(酸化型)のプロセスは･･･

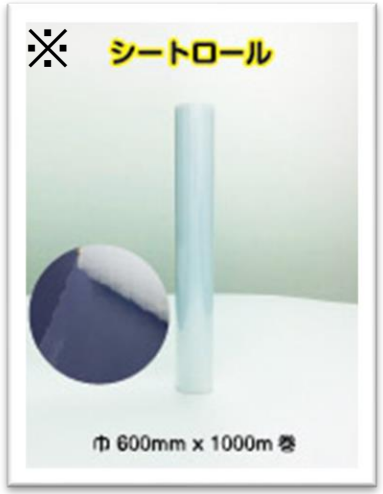
① 自然界に存在する「空気・熱・水など」により、酸化させ “酸化物” に変化させる。
② 同時に高分子であるプラスチックが、低分子化される。
③ 低分子化された酸化物は、微生物の餌となり消化される。
④ 一部は微生物の代謝エネルギーになるものの、ほとんどが二酸化炭素
(約90%～)と水として排出される。



酸化型生分解プラスチック導入のメリット

- 従来の工場設備を変えることなく製造が可能
- 製品寿命のコントロールが可能
- 安価で製造可能

「アピノンキーパー®」ラインナップ(抜粋)



＊＊＊　価格　＊＊＊

仕様毎にお見積もりをさせていただきます。形状（袋・シート・ロールなど）、素材（PE・PPなど）、数量をご指定いただき、受注生産となります。
鮮度保持のみ・生分解のみ・生分解鮮度保持、Bio配合等 諸機能で生産可能です。

一部サイズにより既製品（※印）のご用意もございますので、お問い合わせください。

More Device